

平成 2 7 年度
網走市における景気動向調査
＜第 I 四半期＞

報 告 書

網 走 商 工 会 議 所

目 次

第1章	調査要領	1
1-1	調査時点及び調査対象期間	
1-2	調査対象	
1-3	調査方法	
1-4	回収状況	
第2章	概況	
2-1	全体の動き	2
2-2	業種別の動き	3
第3章	各判断項目回答割合	
3-1	業況	6
3-2	完成工事高・生産高・売上高	7
3-3	在庫水準	8
3-4	採算	8
3-5	資金繰り	9
第4章	景況天気図	
4-1	記号説明	10
4-2	全業種D.I.値の状況	10
4-3	業種別D.I.値の状況	11
第5章	産業別経営上の問題点	13
第6章	産業別設備投資の状況	14
第7章	業界の景気動向等その他ご意見	15

第 1 章 調査要領

1－1．調査時点及び調査対象期間

- (1) 調査時点：平成 27 年 7 月 9 日（木）～平成 27 年 7 月 31 日（金）
 (2) 調査期間：平成 27 年 4 月～6 月期実績、及び、平成 27 年 7 月～9 月期見通し

1－2．調査対象

網走市に所在する建設業（30 件）、製造業（23 件）、卸売業（22 件）、小売業（41 件）、サービス業（44 件）の 5 業種 160 社を調査対象とした。

1－3．調査方法

調査対象に調査票を送付し、FAX、若しくは、返信用封筒による郵送で回答を受ける。

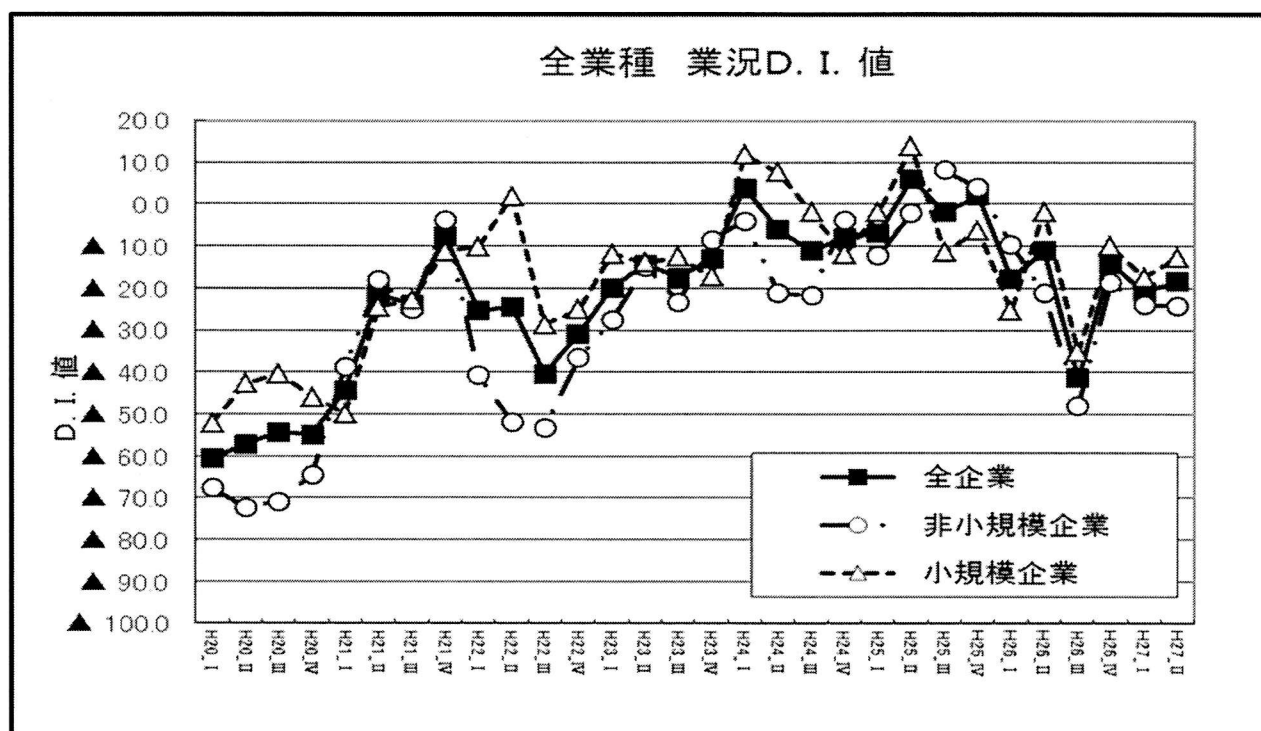
1－4．回収状況

業 種	企業数	対象企業数	回答企業数	回 答 率
建 設 業		30 件	25 件 (非小規模企業：13 件) (小規模企業：12 件)	83.3%
製 造 業		23 件	16 件 (非小規模企業：5 件) (小規模企業：11 件)	69.6%
卸 売 業		22 件	17 件 (非小規模企業：9 件) (小規模企業：8 件)	77.3%
小 売 業		41 件	30 件 (非小規模企業：14 件) (小規模企業：16 件)	73.2%
サービス業		44 件	37 件 (非小規模企業：15 件) (小規模企業：10 件)	84.1%
合 計		160 件	125 件	78.1%

注) 小規模企業とは、常時使用する従業員が 20 名以下（卸売業・小売業・サービス業は 5 人以下）を示す。

第2章 概況

2-1. 全体の動き



注) D.I.値とは、ディフュージョン・インデックスの略で景気動向指数を示すものであり、好転の割合から悪化の割合を引いた値である。

本調査期間から、調査の正確性を更に高めるために調査依頼先をこれまでの135社から160社に拡大し実施。

平成27年度第I四半期<4月～6月>の業況は、前年同期比で「好転企業」15.2%、「悪化企業」36.0%となり、「好転企業」から「悪化企業」を差し引いたD.I.値は▲20.8と前期と比べ6.5ポイント悪化しました。規模別にみると、非小規模企業のD.I.値は同5.4ポイント減の▲24.1、小規模企業は同7.5ポイント減の▲17.5となり、いずれも悪化が拡大し、全体としては5期連続のマイナス水準となり、網走市における景気停滞感は依然として解消されておらず厳しい状況に置かれています。

今期は全5業種中4業種で前年同期より悪化し、特に小売業の下げ幅が最も大きく▲46.7、続いて建設業の▲36.0、卸売業▲17.7、サービス業▲8.1となりました。一方、製造業は前期比18.8ポイント上昇の18.8、製造業を除く4業種全てでマイナス水準となりました。

次期(7月～9月)の業況判断D.I.は今期より2.4ポイント改善の▲18.4の見通しを示したものの、全体として厳しい状況に大きな変化はないとの見通しを立てています。

前期プラスだった製造業が18.8ポイント減の0を予想。建設業は12ポイント減の▲48.0、卸売業は同水準の0、一方でサービス業は観光シーズンを迎え前期比21.6ポイント改善し13.5と5業種中唯一プラス回復を予想、小売業は同3.4ポイント回復し▲43.3を見込むものの、消費の低迷が依然として続いており、企業経営にどのような影響を与えるのかは依然不透明で予断を許さない状況です。

経営上の問題点としては「人材不足」「諸経費増」「売上の不振」が上位を占めました。建設業、サービス業は「人材不足」を挙げており、製造業においては「諸経費増」が課題と位置づける企業が多くを占めた他、卸売業は「得意先の減少」、小売業では「売上の不振」を問題点と指摘しました。

2-2. 業種別の動き

(1) 建設業

■完成工事高

規 模	増 加	減 少	D.I.値	
小規模企業	16.7%	50.0%	▲ 33.3	↓
非小規模企業	7.7%	61.5%	▲ 53.8	↓
全体	12.0%	56.0%	▲ 44.0	↓

■採 算

規 模	増 加	減 少	D.I.値	
小規模企業	0.0%	16.7%	▲ 16.7	↓
非小規模企業	7.7%	53.8%	▲ 46.1	↓
全体	4.0%	36.0%	▲ 32.0	↓

■次期の見通し

判断項目	規 模	好転・増加	悪化・減少	D.I.値	
業況	小規模企業	0.0%	41.7%	▲ 41.7	↓
	非小規模企業	7.7%	61.5%	▲ 53.8	↓
	全体	4.0%	52.0%	▲ 48.0	↓
完成工事高	小規模企業	8.3%	66.7%	▲ 58.4	↓
	非小規模企業	15.4%	69.2%	▲ 53.8	↓
	全体	12.0%	68.0%	▲ 56.0	↓
資金繰り	小規模企業	0.0%	16.7%	▲ 16.7	↓
	非小規模企業	0.0%	7.7%	▲ 7.7	↓
	全体	0.0%	12.0%	▲ 12.0	↓

(2) 製造業

■生 産 高

規 模	増 加	減 少	D.I.値	
小規模企業	18.2%	27.3%	▲ 9.1	↓
非小規模企業	80.0%	20.0%	60.0	↑
全体	37.5%	25.0%	12.5	↑

■採 算

規 模	増 加	減 少	D.I.値	
小規模企業	18.2%	27.3%	▲ 9.1	↓
非小規模企業	60.0%	20.0%	40.0	↑
全体	31.3%	25.0%	6.3	↑

■次期の見通し

判断項目	規 模	好転・増加	悪化・減少	D.I.値	
業況	小規模企業	9.1%	18.2%	▲ 9.1	↓
	非小規模企業	20.0%	0.0%	20.0	↑
	全体	12.5%	12.5%	0.0	→
生産高	小規模企業	9.1%	18.2%	▲ 9.1	↓
	非小規模企業	20.0%	20.0%	0.0	→
	全体	12.5%	18.8%	▲ 6.3	↓
資金繰り	小規模企業	0.0%	27.3%	▲ 27.3	↓
	非小規模企業	0.0%	0.0%	0.0	→
	全体	0.0%	18.8%	▲ 18.8	↓

(3) 卸売業

■売上高

規 模	増 加	減 少	D.I.値	
小規模企業	37.5%	37.5%	0.0	→
非小規模企業	22.2%	55.6%	▲ 33.4	↘
全体	29.4%	47.1%	▲ 17.7	↘

■採 算

規 模	増 加	減 少	D.I.値	
小規模企業	37.5%	37.5%	0.0	→
非小規模企業	11.1%	44.4%	▲ 33.3	↘
全体	23.5%	41.2%	▲ 17.7	↘

■次期の見通し

判断項目	規 模	好転・増加	悪化・減少	D.I.値	
業況	小規模企業	25.0%	25.0%	0.0	→
	非小規模企業	11.1%	44.4%	▲ 33.3	↘
	全体	17.6%	35.3%	▲ 17.7	↘
売上高	小規模企業	37.5%	25.0%	12.5	↗
	非小規模企業	11.1%	55.6%	▲ 44.5	↘
	全体	23.5%	41.2%	▲ 17.7	↘
資金繰り	小規模企業	12.5%	25.0%	▲ 12.5	↘
	非小規模企業	0.0%	22.2%	▲ 22.2	↘
	全体	5.9%	23.5%	▲ 17.6	↘

(4) 小売業

■売上高

規 模	増 加	減 少	D.I.値	
小規模企業	6.3%	56.3%	▲ 50.0	↘
非小規模企業	7.1%	71.4%	▲ 64.3	↘
全体	6.7%	63.3%	▲ 56.6	↘

■採 算

規 模	増 加	減 少	D.I.値	
小規模企業	0.0%	50.0%	▲ 50.0	↘
非小規模企業	7.1%	42.9%	▲ 35.8	↘
全体	3.3%	46.7%	▲ 43.4	↘

■次期の見通し

判断項目	規 模	好転・増加	悪化・減少	D.I.値	
業況	小規模企業	12.5%	50.0%	▲ 37.5	↘
	非小規模企業	7.1%	57.1%	▲ 50.0	↘
	全体	10.0%	53.3%	▲ 43.3	↘
売上高	小規模企業	12.5%	56.3%	▲ 43.8	↘
	非小規模企業	7.1%	71.4%	▲ 64.3	↘
	全体	10.0%	63.3%	▲ 53.3	↘
資金繰り	小規模企業	6.3%	31.3%	▲ 25.0	↘
	非小規模企業	0.0%	28.6%	▲ 28.6	↘
	全体	3.3%	30.0%	▲ 26.7	↘

(5) サービス業

■売上高

規 模	増 加	減 少	D.I.値	
小規模企業	31.3%	18.8%	12.5	↗
非小規模企業	19.0%	52.4%	▲ 33.4	↘
全体	24.3%	37.8%	▲ 13.5	↘

■採 算

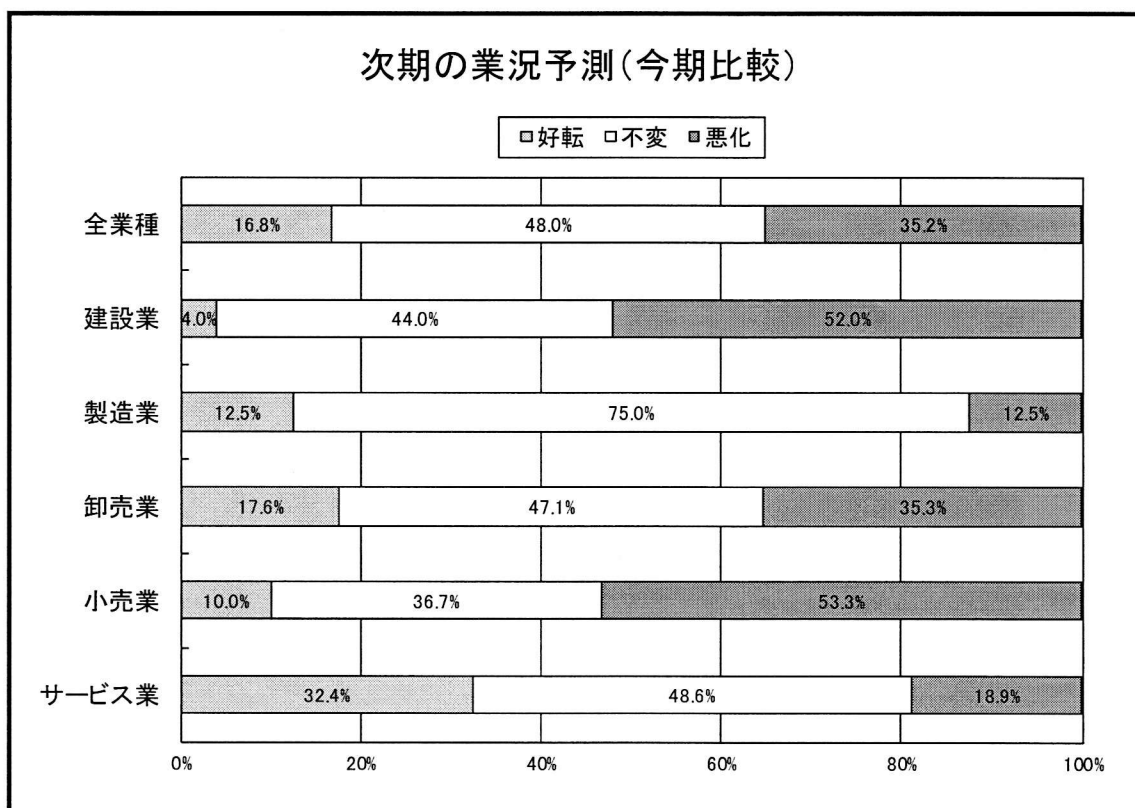
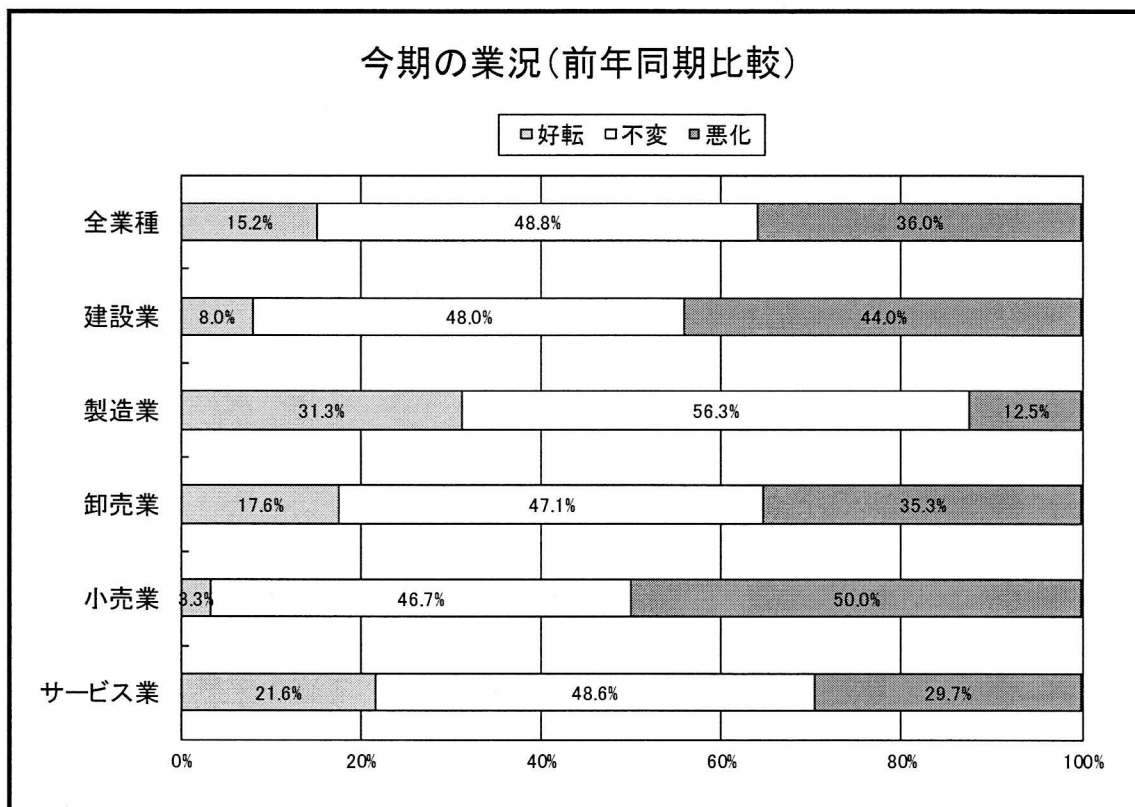
規 模	増 加	減 少	D.I.値	
小規模企業	25.0%	12.5%	12.5	↗
非小規模企業	19.0%	42.9%	▲ 23.9	↘
全体	21.6%	29.7%	▲ 8.1	↘

■次期の見通し

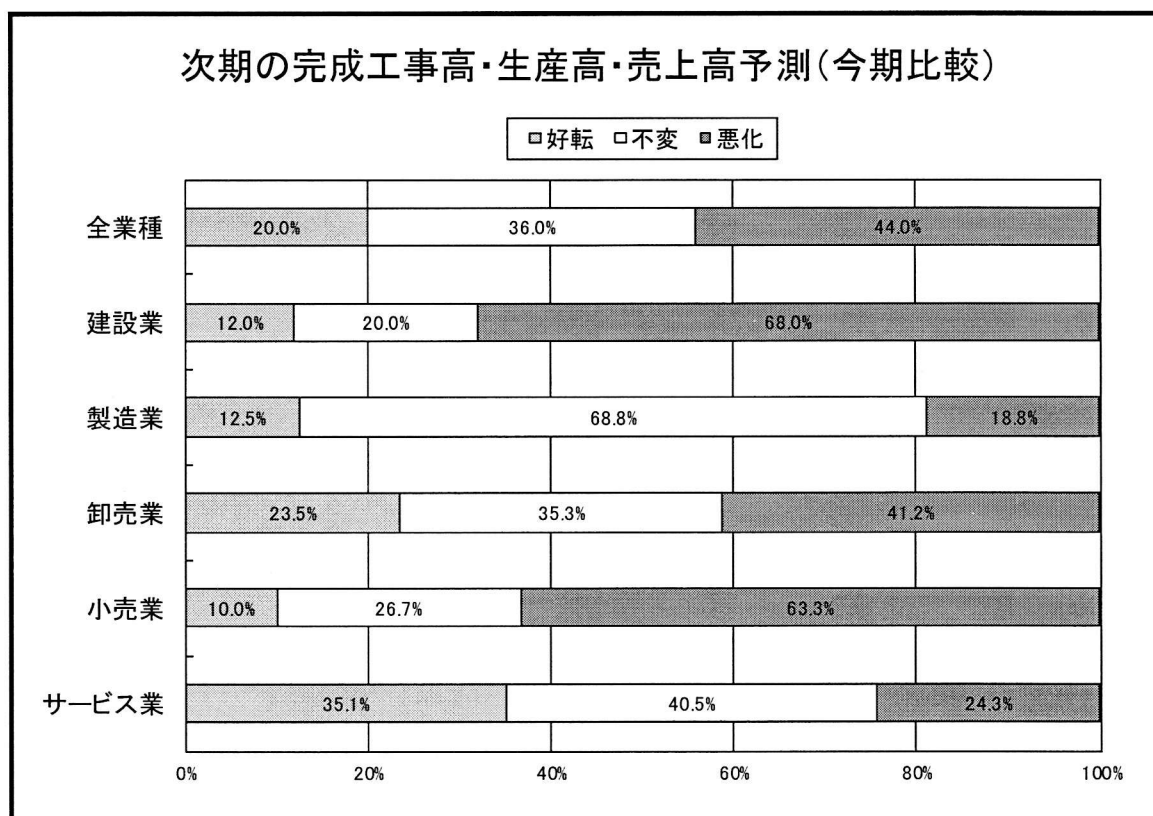
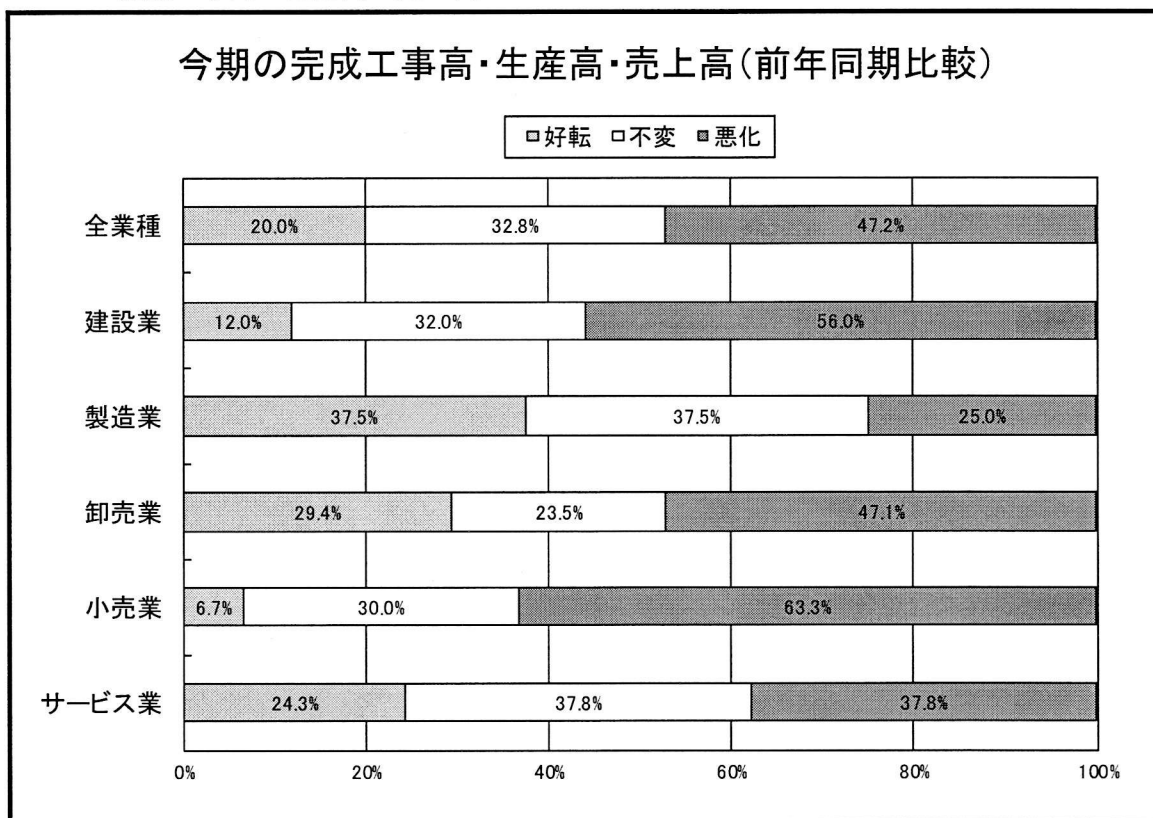
判断項目	規 模	好転・増加	悪化・減少	D.I.値	
業況	小規模企業	31.3%	6.3%	25.0	↗
	非小規模企業	33.3%	28.6%	4.7	↗
	全体	32.4%	18.9%	13.5	↗
売上高	小規模企業	37.5%	6.3%	31.2	↗
	非小規模企業	33.3%	38.1%	▲ 4.8	↘
	全体	35.1%	24.3%	10.8	↗
資金繰り	小規模企業	25.0%	0.0%	25.0	↗
	非小規模企業	20.0%	20.0%	0.0	→
	全体	22.2%	11.1%	11.1	↗

第3章 各判断項目回答割合

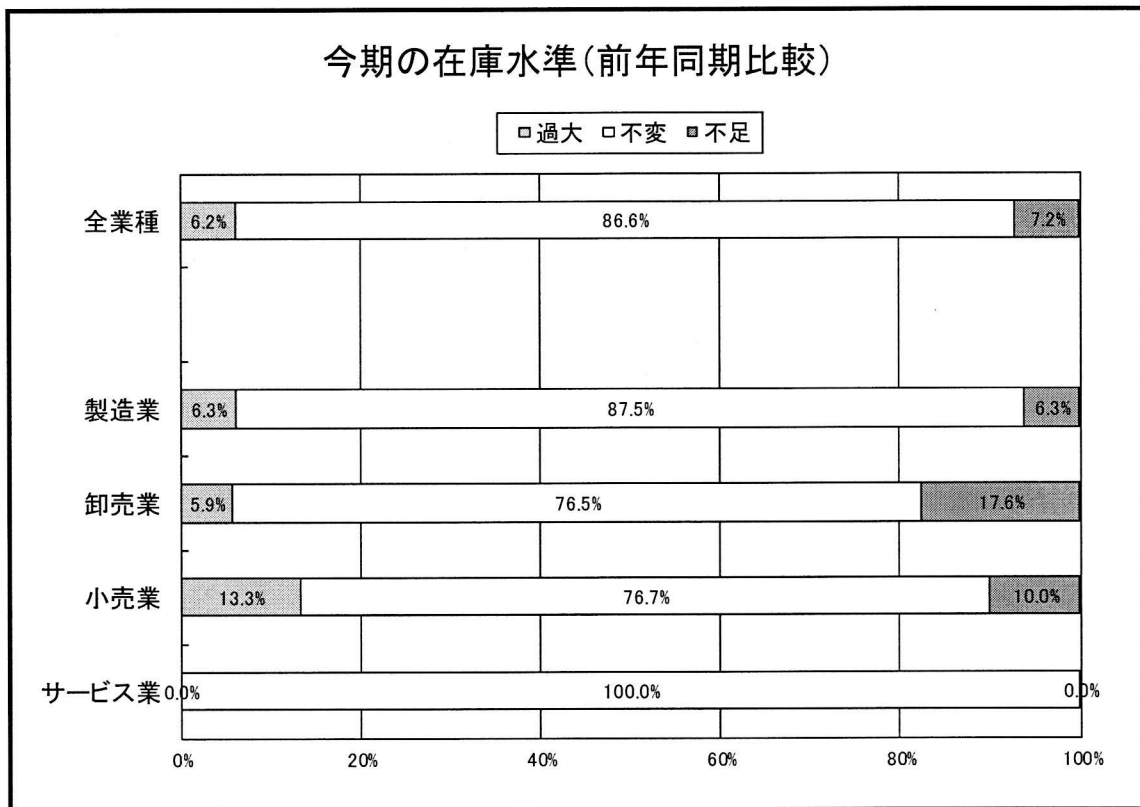
3-1. 業況



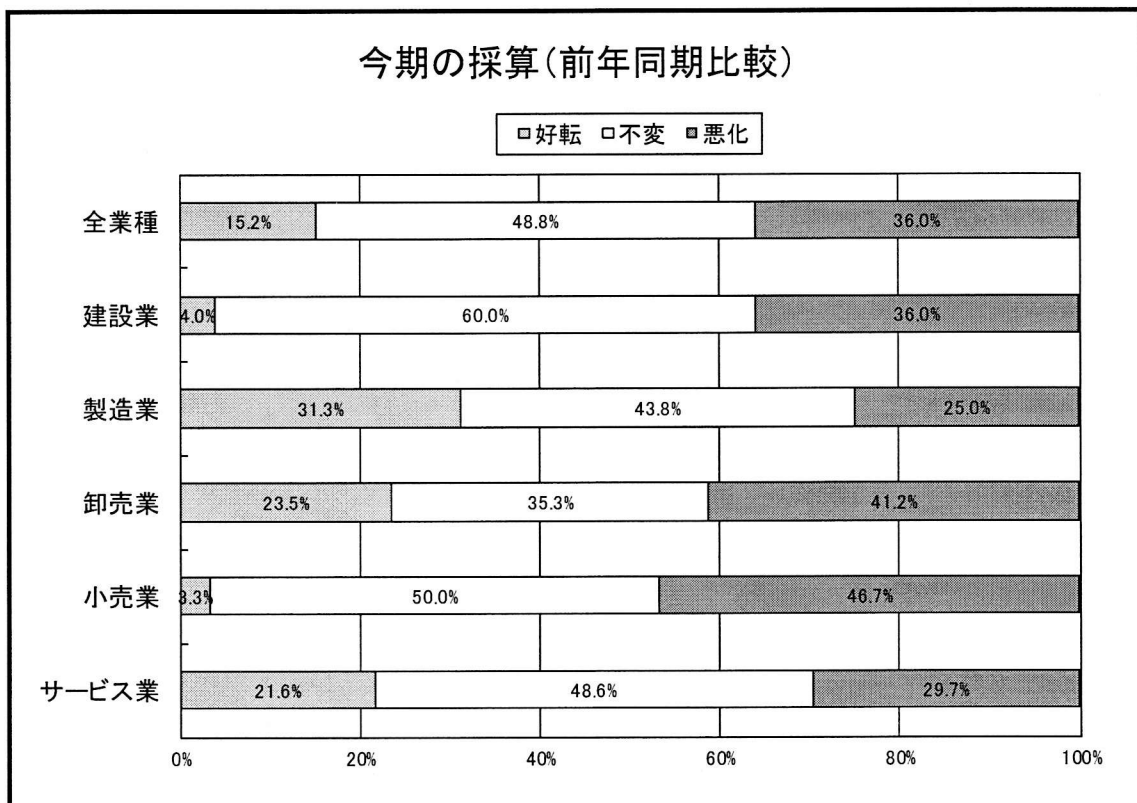
3-2. 完成工事高・生産高・売上高



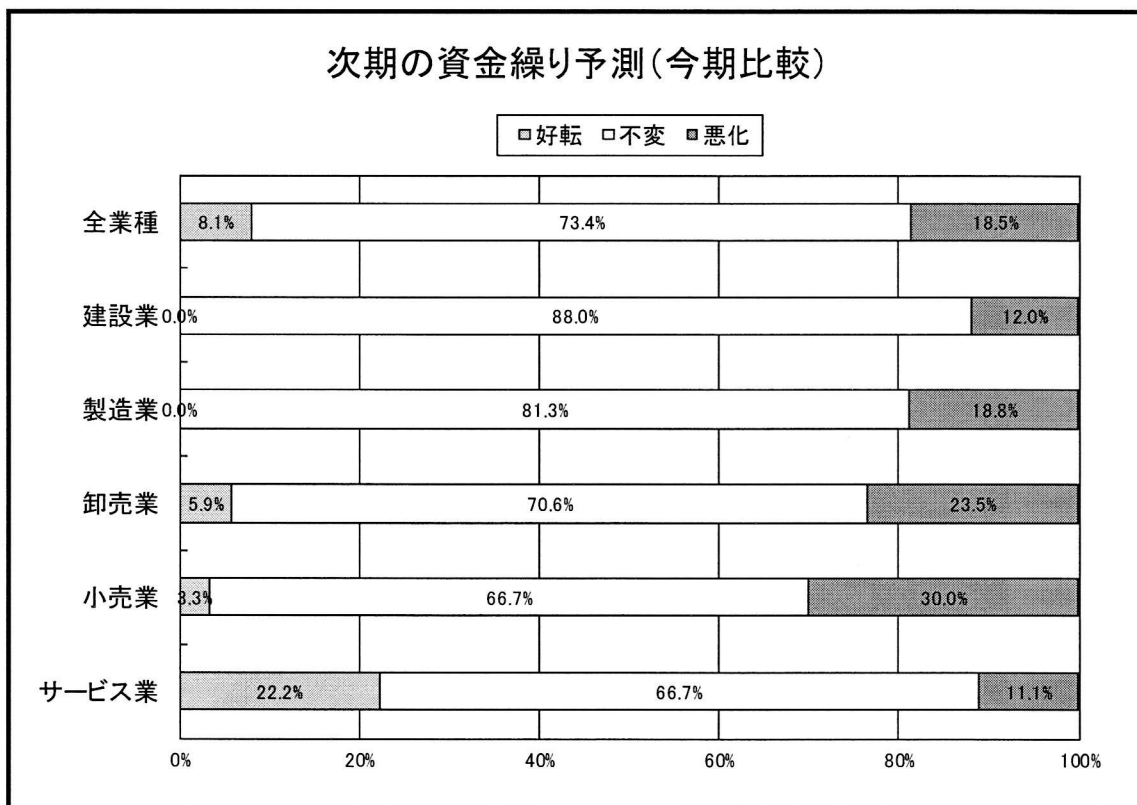
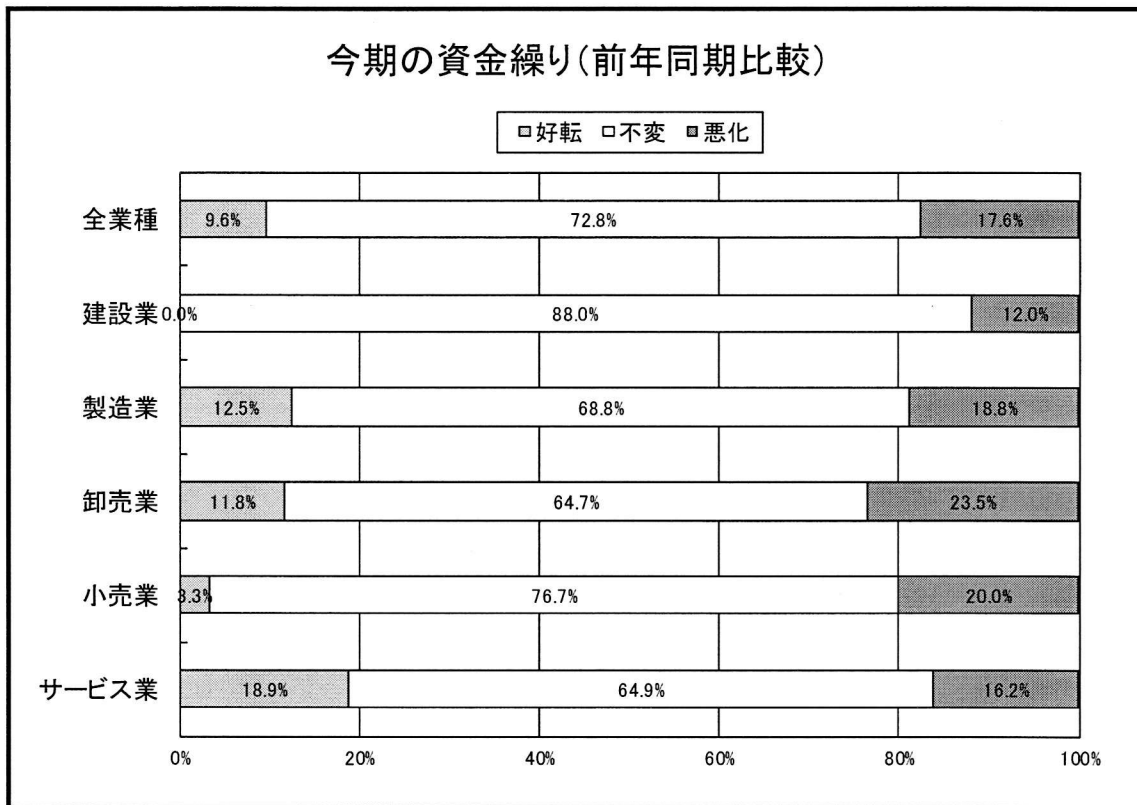
3－3．在庫水準



3－4．採算

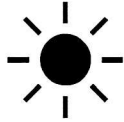


3-5. 資金繰り



第4章 景況天気図

4-1. 記号説明

				
とくに好調 (D.I. ≥ 50)	好 調 ($50 > \text{D.I.} \geq 25$)	まあまあ ($25 > \text{D.I.} \geq 0$)	不 振 ($0 > \text{D.I.} \geq \blacktriangle 25$)	きわめて不振 ($\blacktriangle 25 > \text{D.I.}$)

4-2. 全業種 D.I. 値の状況

	前年同月比	3ヶ月見通し
業 況	 $\blacktriangle 20.8$	 $\blacktriangle 18.4$
売 上	 $\blacktriangle 27.2$	 $\blacktriangle 24.0$
採 算	 $\blacktriangle 20.8$	
資金繰り	 $\blacktriangle 8.0$	 $\blacktriangle 10.4$

4－3．業種別 D.I.値の状況

	判断項目	前年同期比	3ヶ月見通し
建設業	業 況	 ▲ 36.0	 ▲ 48.0
	完成工事高	 ▲ 44.0	 ▲ 56.0
	採 算	 ▲ 32.0	
	資金繰り	 ▲ 12.0	 ▲ 12.0
製造業	業 況	 18.8	 0.0
	生 産 高	 12.5	 ▲ 6.3
	採 算	 6.3	
	資金繰り	 ▲ 6.3	 ▲ 18.8
卸売業	業 況	 ▲ 17.7	 ▲ 17.7
	売 上	 ▲ 17.7	 ▲ 17.7
	採 算	 ▲ 17.7	
	資金繰り	 ▲ 11.7	 ▲ 17.6

	判断項目	前年同期比	3ヶ月見通し
小売業	業 況	 ▲ 46.7	 ▲ 43.3
	売 上	 ▲ 56.6	 ▲ 53.3
	採 算	 ▲ 43.4	
	資金繰り	 ▲ 16.7	 ▲ 26.7
サービス業	業 況	 ▲ 8.1	 13.5
	売 上	 ▲ 13.5	 10.8
	採 算	 ▲ 8.1	
	資金繰り	 2.7	 11.1

第5章 産業別経営上の問題点

業 種	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
建設業	人材不足	売上の不振	諸経費増	同業者間の競合	人件費増
製造業	諸経費増	人材不足	人件費増	売上の不振 得意先の減少	
卸売業	得意先の減少 同業者間の競合		諸経費増 売上の不振		人件費不足
小売業	売上の不振	得意先の減少 諸経費増		同業者間の競合	人材不足
サービス業	人材不足	諸経費増	人件費増	得意先の減少	同業者間の競合
合 計	人材不足	諸経費増	売上の不振	同業者間の競合 得意先の減少	

第6章 設備投資の動向

今期の設備投資の有無と設備内容について調査し、業種別に統計しました。

設備投資の有無は表1のとおり、設備内容は表2のとおりです。

表1 業種別件設備投資の動向

設備投資	建設	製造	卸売	小売	サービス	合計
した	5件 (20.0)	7件 (43.8)	1件 (5.9)	3件 (10.0)	9件 (24.3)	25件 (20.0)
しない	20件 (80.0)	7件 (43.8)	15件 (88.2)	27件 (90.0)	28件 (75.7)	97件 (77.6)
無回答	-	2件 (12.5)	1件 (5.9)	-	-	3件 (2.4)
合計	25件	16件	17件	30件	37件	125件

※上記表のカッコ内はパーセンテージを示す。

表2 業種別設備投資の内容

設備投資 内容	建設	製造	卸売	小売	サービス	合計
土地	1件	-	-	-	1件	2件
店舗	1件	-	1件	1件	3件	6件
販売設備	-	-	1件	-	-	1件
車輛	3件	2件	1件	-	3件	9件
付帯設備	2件	5件	-	-	4件	11件
OA機器	-	-	-	1件	1件	2件
福利厚生施設	-	-	-	-	-	-
その他	1件	-	-	1件	-	2件

※複数回答があるため、表1の合計件数と相違している。

※その他の記述（1件記述有）

- ・アパート（建設業）

第8章 業界の景気動向等その他のご意見

- ・今年は選挙の年のせいか、国の仕事が極端に発注量少ない。(建設業)
- ・官公庁から出る工事の冬場の自主施工期間をなくすこと！！技術工が育たない。(建設業)
- ・前半は仕事がありますが、後半の仕事があるかどうか心配です。経費を削減して頑張っています。(建設業)
- ・公共工事が今まで経験したことがないほどの減少で、同業者間の競争が激しくなっている。(建設業)
- ・①帆立貝の水揚げの減少による工場稼働低下。そして仕入価格上昇に伴う粗利減少。(仕入価格が高くなっても販売価格がそれについていけない状況になっている。)(製造業)
- ・②ロシアとの密漁密輸防止協定発効の影響で活ガニ輸入が減少しているため、網走前浜水揚げのカニも高等状態が続いています。ホタテと同様に粗利が減少しています。(製造業)
- ・原材料、包装資材等の値上がりによる利益圧縮。(製造業)
- ・トラックの不足による入荷減少(本州からの)、この後もトラックの不足、ドライバーの不足が続くと考えられる。(卸売業)
- ・カニ、鮭、その他ロシアの影響がある。燃料値上げが止まらない。(卸売業)
- ・地域券の売上がなくなったため、下期も実施していただきたい。(小売業)
- ・人材不足と得意先の高齢化と減少です。(小売業)
- ・円安の影響で仕入等が up しているが、売値に反映できない。(小売業)
- ・人材確保。(サービス業)
- ・客足の回数が減少。(サービス業)
- ・JR 運休による今後の影響を懸念しております。(サービス業)
- ・管内車輛台数の減少による売上減。(サービス業)
- ・ビジネスを含めた観光客に支えられている状況。地元顧客の減少に歯止めがきかない。「旬」まつりなどの新たな取組み(イベント)などから潜在的な地元ニーズを掘り起こす、官民一体となったオール網走からの情報発信が重要！(サービス業)
- ・毎年、5月6月は売上が上がり悩みます。相変わらず原材料の高騰が続き早期の TPP 導入を希望します。(サービス業)
- ・全国チェーンのホテルが来春オープンすることにより、ON シーズンの市全体の満室率が下がりそう。その余波をどこが受けるのか不明。(サービス業)
- ・人材不足と高齢化。(サービス業)
- ・コンビニで格安コーヒーを提供、大変脅威！(サービス業)